
第54回空襲・戦災を記録する会静岡大会 開催要項

空襲を描く

— 世代をこえて描かれる戦争 —

空襲・戦災を記録する会は、2024年8月23日(金)～25日(日)の3日間の日程で、第54回全国大会を静岡県男女共同参画センター「あざれあ」(静岡市駿河区馬淵)で開催いたします。

本会は、1971年に第1回東京大会から始まりました。故・早乙女勝元氏らと各地の市民の手によって空襲・戦災を記録し、その実相を体験者の証言や米軍資料などに求め、市民に語り伝える取り組みが全国に広がったことを受け、現在まで歩みを続けてきました。

ところが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、創設から半世紀の節目となる2020年の第50回大会と翌年の第51回大会は、オンラインで開催するほかありませんでした。そして、2022年の第52回大会は、東京女子大学で、オンラインを併用しながら、対面で開催する方法を試み、昨夏の第53回大会では、東北地方の秋田で、ようやく対面+オンラインのハイフレックス方式で開催することができました。

さて、今大会では、1日目と2日目午前は空襲資料研究会を開催し、2日目午後には静岡平和資料センターからの報告、続いて講演・シンポジウム「空襲を描く」を開催いたします。そして3日目は、各地からの活動・研究報告を予定しております。

今回、私たちは静岡で全国大会を開催するにあたり、「空襲を描く」ことをテーマに掲げることにしました。静岡平和資料センターでは、40年ほど前の1985年前後、「孫世代に空襲をいかに伝えるか」という課題に直面しました。このため「空襲体験画」を募り、その結果、市民の方から百数十枚の絵が集まりました。この「空襲体験画」は時代を越えて静岡の空襲を語り伝えるという大きな役割を果たしてきました。この静岡の取り組みをうかがいつつ、空襲を「描く」こと、描かれた空襲を「観る(どのように活用すればよいのか)」ことを中心として、空襲体験の継承・研究の方法としての意義や可能性を深め合えればと願っております。

いま、ウクライナやパレスチナ・ガザ地区では、この瞬間にも多くの命が奪われ、さらにはこれらが世界的規模の戦争に転化する危険性も指摘される一方、日本でも「新たな戦前」と形容される動向が懸念されています。戦後80年近くが経過したいま、平和意識の土台の一つをなしてきた「空襲体験」を、どのように次世代に継承していくのかが問われていると言えるでしょう。みなさまのご参加をお待ちしております。

なお、コロナ禍で培ったオンラインでのつながりを大切にして、今大会も対面+オンラインのハイフレックス方式で開催いたします。お好みの方法でご参加ください。

2024年5月吉日
第54回空襲・戦災を記録する会
静岡大会実行委員長 阿部 聖

対面方式会場（現地参加は申込先着 80 名様まで）

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」 <https://www.azarea-navi.jp/>

〒 422-8063 静岡市駿河区馬淵 1 丁目 17-1 TEL：054-255-8440

【アクセス】

- ・対面参加：徒歩または公共交通機関のご利用をお願いします。
※静岡駅から徒歩 10 分
- ・オンライン方式会場：Zoom 使用（参加申込者には後日 URL を送付します）

日程概要

8 月 23 日（金）18:00 ～ 21:00（予定） 空襲資料研究会

8 月 24 日（土）09:00 ～ 11:30（予定） 空襲資料研究会

8 月 24 日（土）13:00 ～ 17:30（予定）

1. 空襲・戦災を記録する会代表・静岡大会実行委員長あいさつ
2. 静岡からの報告
3. 講演・シンポジウム「空襲を描く 一世代をこえて描かれる戦争」

8 月 24 日（土）19:00 ～ 21:00 懇親会（※要申し込み）

8 月 25 日（日）9:00 ～ 12:30（予定） 各地の活動・自由報告

参加方法

①対面方式で参加される方（先着 80 名様まで）

- ・ Google フォームに申し込み・登録をお願いします。その後「口座振込にて」参加費 2,000 円（懇親会に参加される方は計 7,000 円）をお支払いください。各地の活動・自由報告（8 月 25 日（日）の午前）をご希望の方は、報告タイトルをご記入ください。 仮タイトルでもかまいません「空襲資料研究会（旧：米軍資料の調査・活用に関する研究会）」の報告希望者は工藤洋三さん ykudo123@gmail.com にご連絡ください。



②オンライン方式で参加される方

- ・ Google フォームに申し込み・登録をお願いします。
（フォーム内の Peatix リンクから「必ず Peatix で」お支払いをお願いいたします。）
- ・ Peatix でお支払いの方には、自動的に ZOOM 参加用 URL・ミーティング ID・パスワードが送付されます。

参加申込み 以下のいずれかでお申し込みください。

①対面参加の場合は、以下オンライン登録フォーム <https://forms.gle/U2zQiEenoZVbcPqG7> に 8 月 20 日（火）までにご登録・お振り込みください。

※会場の都合により対面参加人数には限りがあります。上限（80 名）になり次第締め切らせていただきますので、ご了承下さい。

※【重要】懇親会参加希望者は、会場予約の関係から 8 月 13 日（火）までにご登録ください。

②オンライン参加の方も「オンライン登録フォーム」で開催前日までに登録してください。

<https://forms.gle/U2zQiEenoZVbcPqG7>

③上記登録フォームで申し込むことができない方は、8 月 13 日（火）までに別添「参加申込書」を郵送してください。

送付先 〒 745-0121 山口県周南市須々万奥 286-3 工藤洋三

参加費 2,000 円

・対面、オンライン方式とも3日間共通で、学生・大学院生の方は無料です。

懇親会 5,000 円（予定）

・懇親会 [8月24日(土)] に参加される方は、8月13日(火) までにオンライン登録フォームに登録・振込をお願いします。

寄付金について

空襲・戦災を記録する会と全国大会の運営のために、例年お志を頂戴しております。寄付金と参加費とを一括でお支払いいただくこともできるよう、項目を設けました。これまでにない試みですが、ご賛同いただける方にはオンライン決済でご選択いただけるようにしております。口座振込みの場合は、参加費とあわせてお振り込みください。

会場周辺での飲食について

会場付近に飲食店はほとんどありません。コンビニはありますが混雑が予想されますので、昼食・飲料などはご持参されることをお勧めします。

宿泊について

静岡駅周辺には多数のホテルがありますが、夏休みの終盤の時期でもあり、早めのご予約を推奨いたします。運営側では用意できかねますのでご了承ください。

=====

8月24日(土)

13:00 記録する会代表あいさつ

静岡大会実行委員長あいさつ(阿部聖さん)

13:10～14:40 静岡からの報告

1: 静岡平和資料館をつくる会 代表あいさつ(鍋倉伸子さん)

2: 会の歩み(田中文雄さん・静岡平和資料センター センター長)

3: 静岡県内への空襲の実態(奥脇卓也さん・静岡平和資料センター 調査研究部)

4: 資料の水難レスキュー活動報告(田中文雄さん・静岡平和資料センター センター長 NPO 文化財を守る会)

5: 会と体験画(田中文雄さん・静岡平和資料センター センター長)

14:40～14:50 休憩(書籍販売)

講演・シンポジウム「空襲を描くー 世代をこえて描かれる戦争ー」

講演

14:50～15:25 おざわゆきさん(漫画家)「空襲を描いた漫画家の話を聞いてみよう」

シンポジウム

15:25～15:45 佐藤陽子さん(仙台・空襲研究会)「仙台空襲体験の聞き書き」

15:45～15:50 休憩

15:50～16:25 井上裕之さん(文教大学・元NHK)「『戦争体験画』の視点から

16:25～17:30 質疑応答

(書籍販売)

1) 対面方式で参加費支払いについて

今年、静岡会場で参加される方は、参加申込後、下記の表①～③の合計額をお振込みください。

振込期間 2024年7月1日(月)～8月20日(火)

なお、Zoom参加のかたはPeatix申込での決済となります。

① 参加費	2,000 円	8 月 23 日 (金) ~ 25 日 (日)
② 懇親会	5,000 円	8 月 24 日 (土)
③ 寄付	1,000 円 / 1 口	お気持ちに合わせた口数でご寄付をお願いいたします。

<振込先> ゆうちょ銀行

ゆうちょ銀行から	通常貯蓄口座	記号 18120	番号 43450351	佐藤 陽子
他行から	店名 八一八	店番 818	口座番号 4345035	佐藤 陽子

申込内容・振込み確認後にメールで①②③の領収書をお送りいたします。

佐藤 陽子 / E-mail : s.torihito.t@gmail.com

2) Zoom 参加の支払いについて

Peatix (クレジット) での支払いとなります。

大会会場案内図

